

和の光



宝塚市立西谷中学校

■42名の笑顔の思い出 その1

校長 筒井 啓介

早いもので、令和5年度も残りわずかとなりました。私は4月に西谷中学校に校長として赴任しました。教師になり30年になりますが、全校生徒が42名という小規模校の勤務は初めての経験で、はじめは戸惑うことがたくさんありましたが、保護者・地域の皆様から本校の教育推進にご理解・ご支援をいただいたおかげで、教職員と一丸となって教育を推進することができましたこと心からお礼を申し上げます。

本校の子どもたちは限られた集団で長年生活しているため、可能な限り外部の方との交流や社会経験を積む機会を設けるように努めてまいりました。また、豊かな自然や地域の方々との振れ合いを通して、子どもたちに「ふるさと西谷」を愛し、誇りを持ってもらえることを願いながら過ごしてきました。この1年間の学校生活で目にした、子どもたちのたくさんの笑顔は私だけでなく、本校教職員全員の宝物です。限られた紙面のため全てを紹介できませんが、ここに紹介させていただきます。



ふれ合い運動会(6月)

ふれ合い運動会(6月)



ふれ合い運動会(6月)

西谷の伝統「ふれ合い運動会」が6月に開催されました。宝塚市内の他の学校では見ることができない、幼稚園・小学校・中学校が合同で行う運動会です。生徒会の●●くんと〇〇くんのピストルの合図で吹奏楽部のファンファーレが演奏され「ふれ合い運動会」がスタートしました。

成長リレーでは園児から小学生、中学生へとバトンが受け継がれ、子どもたちの成長の姿を感じることができました。また、園児と中学生の合同リレーでは、中学生が園児に優しい気遣いをしながら、足並みを揃えて走る姿が見られました。

「ふれ合い運動会」の大きな演目の一つである園児と中学生によるダンスでは「ハッピージャムジャム」の音楽に合わせて園児と中学生が心を一つに笑顔一杯に踊りました。

そして、最大の演目である中学生全員によるダンスでは、「survival dAnce」のリズムに合わせて足取り軽やかに踊り切りました。退場時には学年ごとにポーズを決めて笑顔いっぱい退場していく姿に42名の生徒の持つ力と絆を感じることができました。



ふれ合い運動会(6月)



沖縄修学旅行にて(5月)

修学旅行では、飛行機に乗って沖縄へ行きました。全校生で折った千羽鶴を平和の礎に奉納して、世界の平和を祈りました。DMM 水族館、沖縄ワールド、国際通り、首里城などを見学して、沖縄の自然や歴史・文化などを学び、中学校生活最大の思い出になりました。